



決算説明会資料

2020年11月10日

菱電商事株式会社

- 1. 当社グループの概要**
- 2. 業績・財務の状況**
- 3. 今後の経営戦略**



1. 当社グループの概要

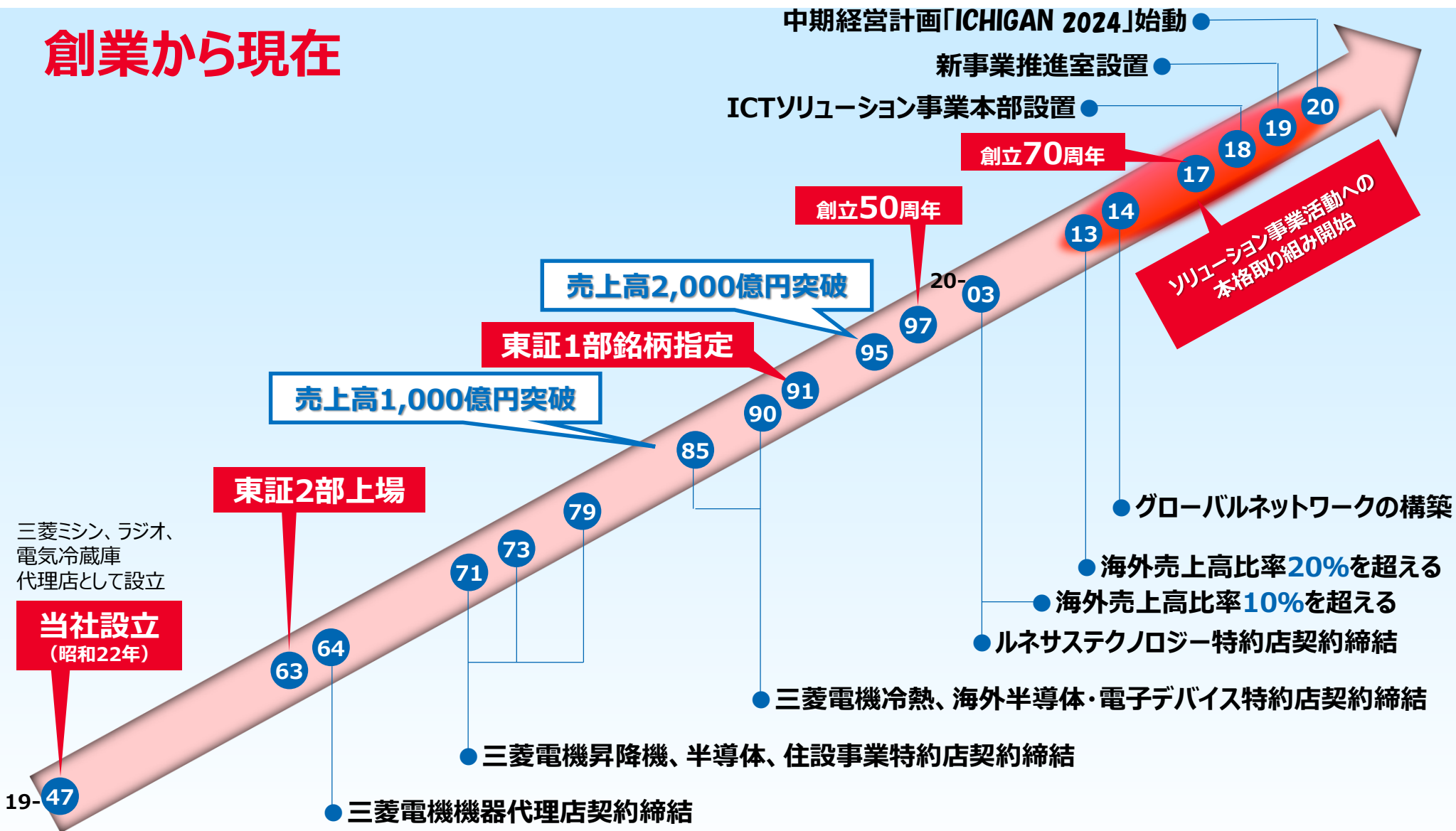


当社の概要

商 号	菱電商事株式会社 (Ryoden Corporation)
設 立	1947 (昭和22) 年4月22日
本 社	東京都豊島区東池袋3-15-15
資 本 金	103億3,429万8,875円 (2020年4月1日現在)
株 式	東京証券取引所市場第一部上場 <コード:8084>
代 表 者	代表取締役社長 正垣 信雄
従 業 員 数	●連結：1,279名 ●単体：1,073名 (ともに2020年3月末現在)
売 上 高	●連結：2,300億円 ●単体：2,039億円 (ともに2020年3月期)
関 係 会 社	●子会社：13社 (連結10社 + 非連結3社) ●関連会社：1社 (持分法適用) ●その他の関係会社：1社 (三菱電機株式会社)

当社グループの歩み

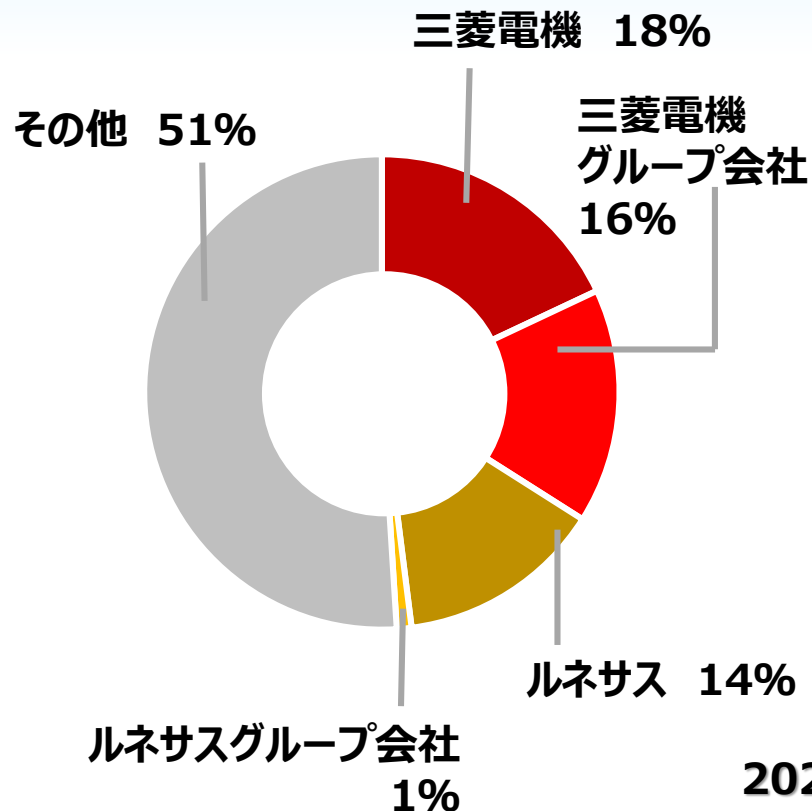
創業から現在



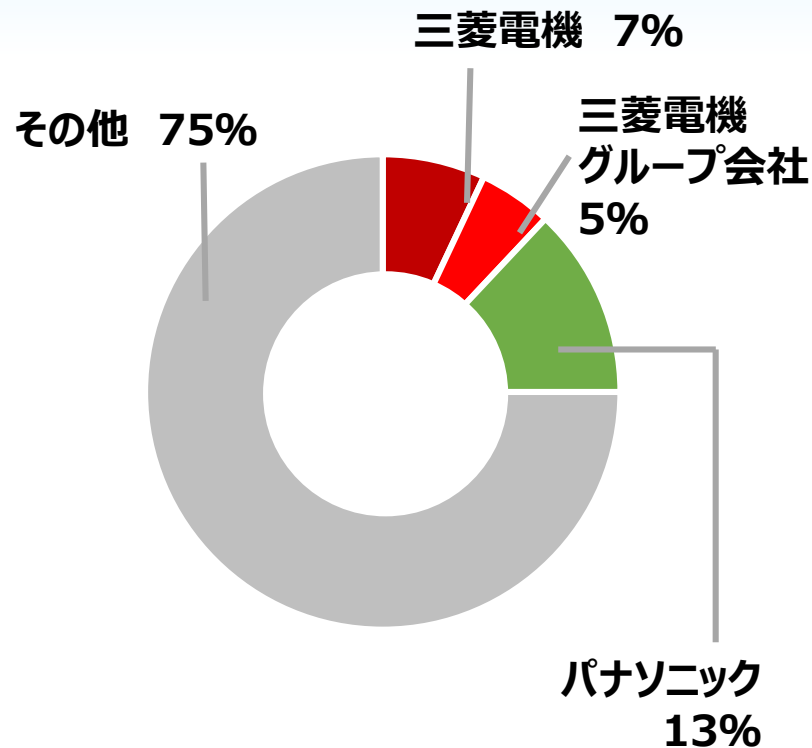
仕入先・販売先の状況

仕入先では三菱電機系とルネサス系、販売先では三菱電機系とパナソニックが比較的大きな取引シェアを持つものの、その他の構成比がともに過半を占める

仕入先別の構成比（仕入額ベース）



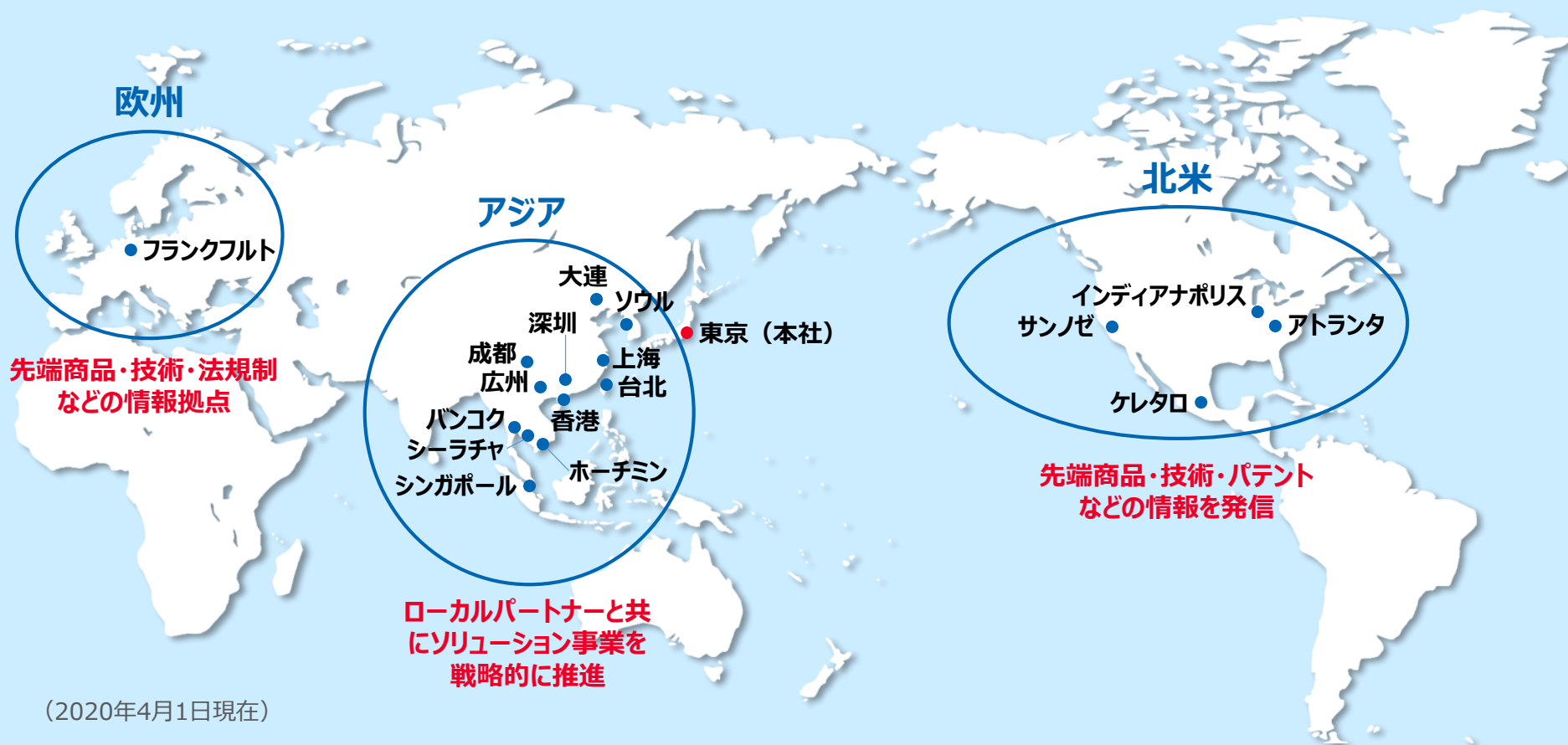
販売先別の構成比（販売額ベース）



2020年3月期

グローバル展開の状況

海外9カ国・地域に設置した現地法人を中心に、ブランチ等を含め計47拠点を展開
域内市場を俯瞰した戦略一元化と強固なネットワーク間連携により、グローバル体制を構築



FAシステム品、冷熱ビルシステム品、ICTシステム品、エレクトロニクス品の仕入・販売
および各事業に附帯するサービスを提供

セグメント別 売上高（外円） および営業利益（内円）

エレクトロニクス

【売】 1,461億円／63.5%
【営】 21.9億円／38.4%

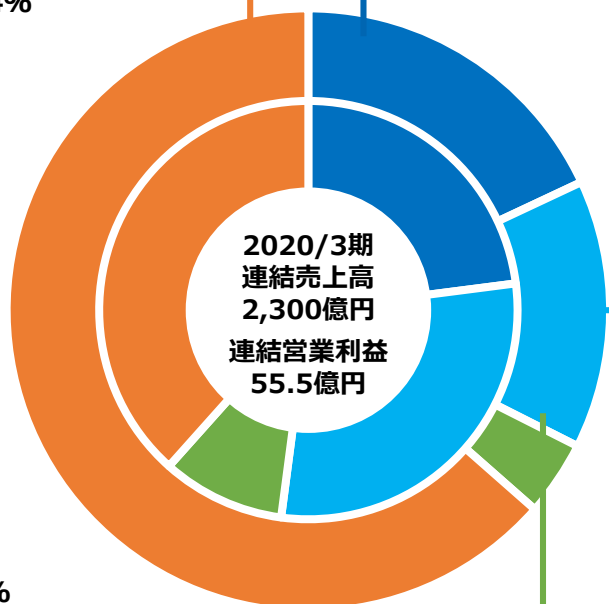
- 電子デバイス
- 産業システム など



- 情報通信
 - ・情報ソリューション
 - ・セキュリティソリューション
 - ・画像・映像ソリューション
- スマートアグリ
- ヘルスケア など

ICTシステム

【売】 92億円／4.0%
【営】 5.4億円／11.0%



【売】 414億円／18.0%
【営】 13.1億円／23.0%

FAシステム

- FA機器システム
- 産業メカトロニクス
- 縫製機器 など



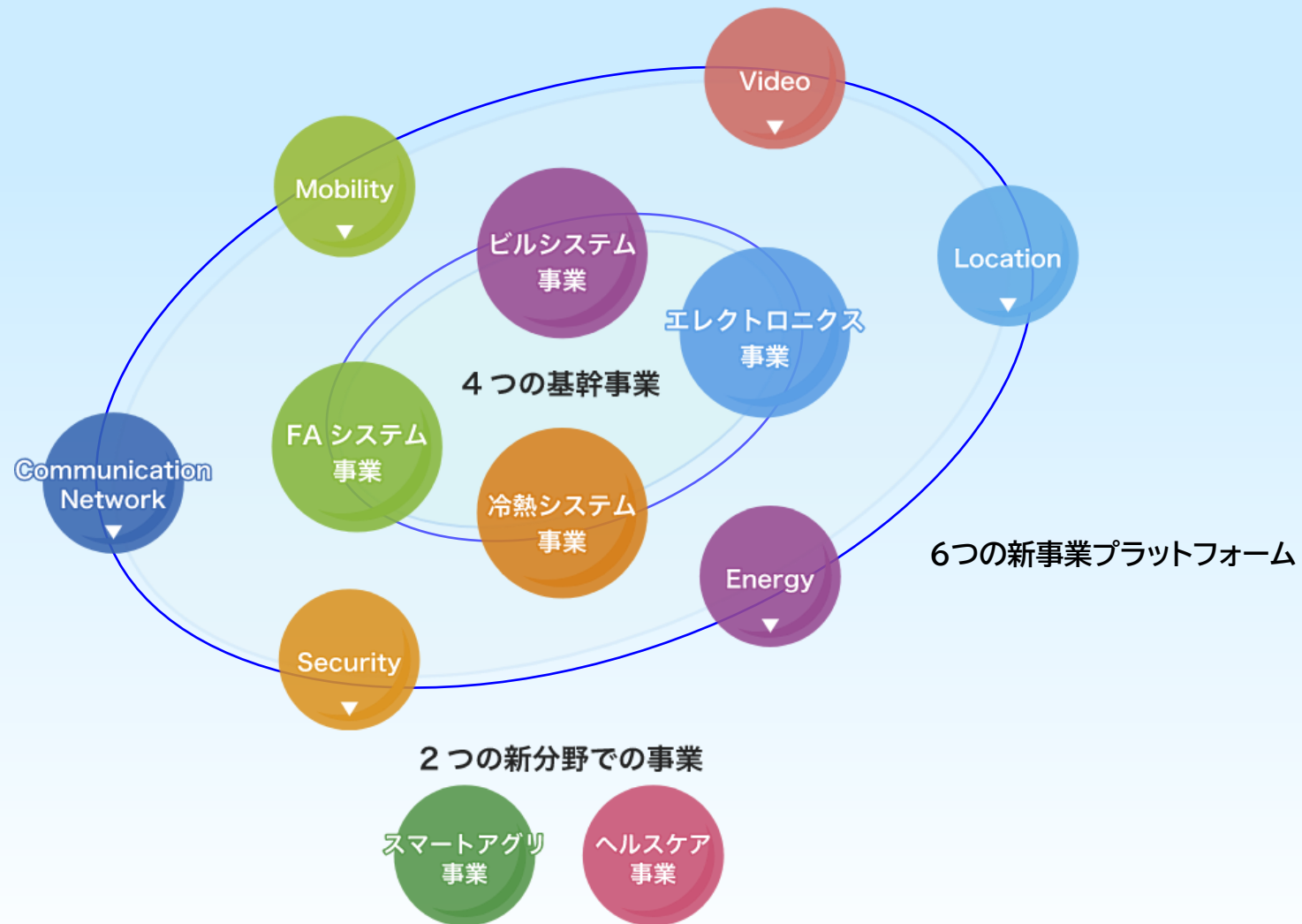
- 空調設備
- 住設設備
- 低温応用設備
- クリーンルーム設備工事
- 産業冷熱システム
- ビルシステム など

【売】 332億円／14.4%
【営】 16.6億円／29.1%

冷熱ビルシステム

※売上高は億単位で切り捨て、営業利益は千万単位で切り捨て

RYODENの幅広い事業領域





2. 業績・財務の状況



～ 2021年3月期 2Q 決算の概要 ～

【市場・業界環境】

- 新型コロナウイルスの影響で未曾有のダメージ
- 中国の回復などにより、海外は回復基調
国内は自動車市場持ち直しの動きあるも、業界ごとにまだら模様で回復ペースは緩やか

【業績・成果】

- 5Gやデータセンター向けが好調も、新事業分野(ICTシステム)以外は設備投資冷え込みや自動車販売低迷の影響を受け、大幅減収減益
- 但し、期初見込み及び7月末の業績予想値に比べ、利益は上方修正

決算サマリー（連結）

	2020/3 第2四半期 (百万円)	2021/3 第2四半期 (百万円)	増減率 (%)
売上高	115,233	92,715	△19.5
売上総利益	12,737	10,460	△17.9
営業利益	2,783	1,228	△55.9
経常利益	2,845	1,348	△52.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,938	1,072	△44.7

決算サマリー（連結）

	5/11公表 2021年度 第2四半期予想 (百万円)	7/31公表 2021年度 第2四半期予想 (百万円)	2021年度 第2四半期実績 (百万円)
	公表値	公表値	公表値
売上高	90,000	90,000	92,715
営業利益	200	900	1,228
経常利益	200	1,000	1,348
親会社株主に帰属する 四半期純利益	150	800	1,072

決算サマリー（連結）

	2021/3 第1四半期(4~6月) (百万円)	2021/3 第2四半期(7~9月) (百万円)	2021/3 第2四半期 (百万円)
売上高	46,525	46,190	92,715
売上総利益	5,237	5,223	10,460
営業利益	573	655	1,228
経常利益	669	679	1,348
親会社株主に帰属する 四半期純利益	432	640	1,072

決算サマリー（連結）

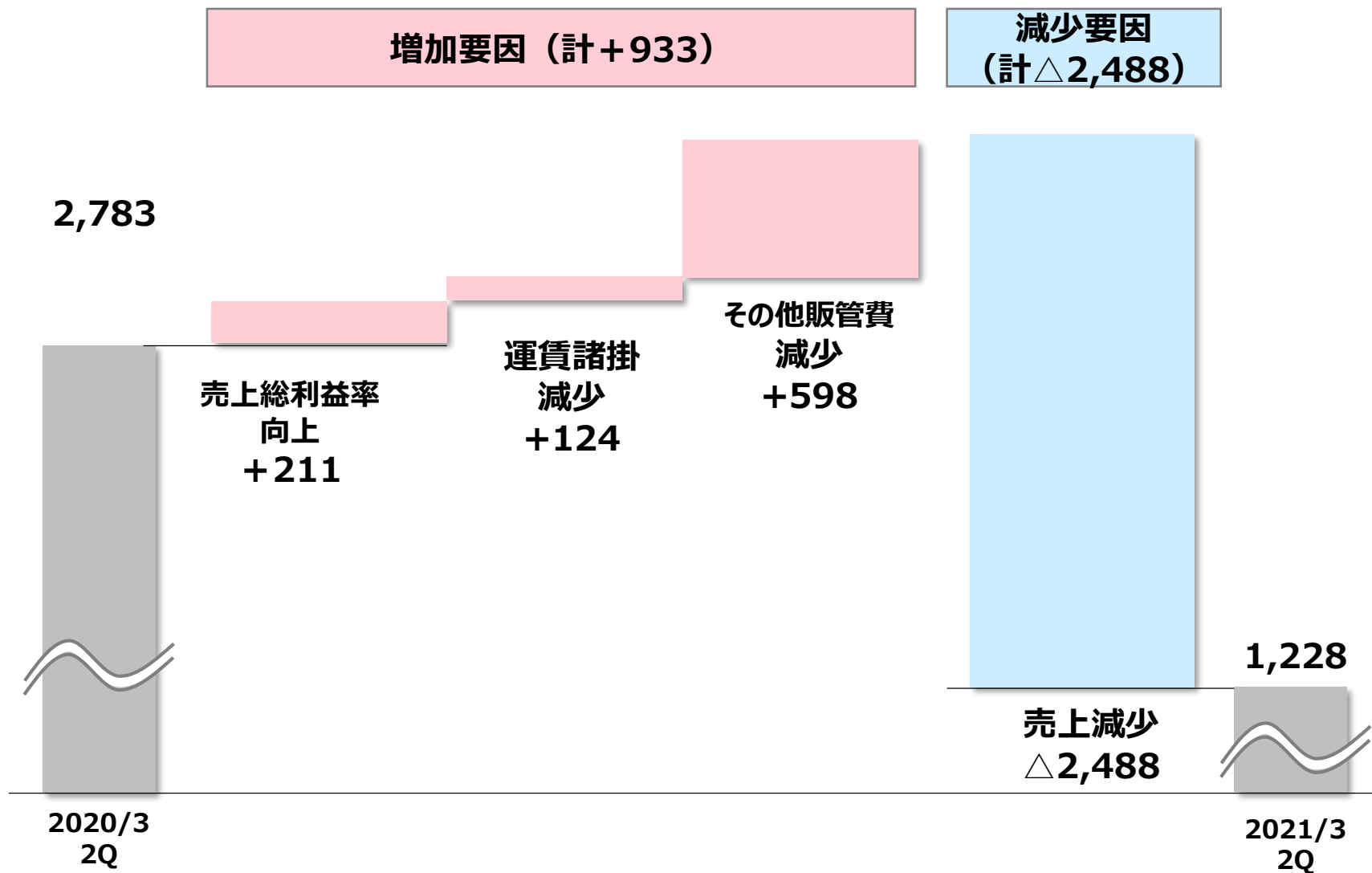
		2021/3 第1四半期(4~6月) (百万円)	2021/3 第2四半期(7~9月) (百万円)	2021/3 第2四半期 (百万円)
FAシステム	売 上 高	7,910	8,386	16,296
	営 業 利 益	43	91	134
冷熱ビルシステム	売 上 高	6,651	6,940	13,591
	営 業 利 益	180	355	535
ICTシステム	売 上 高	2,986	1,710	4,696
	営 業 利 益	334	37	371
エレクトロニクス	売 上 高	28,986	29,170	58,146
	営 業 利 益	75	234	309
全社費用	営 業 利 益	△61	△61	△122

営業利益の増減要因



RYODEN

(単位：百万円)

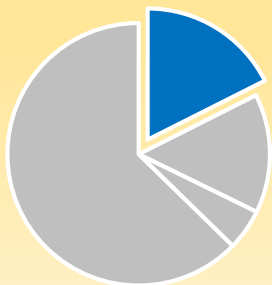


セグメント別の業績動向 1/4

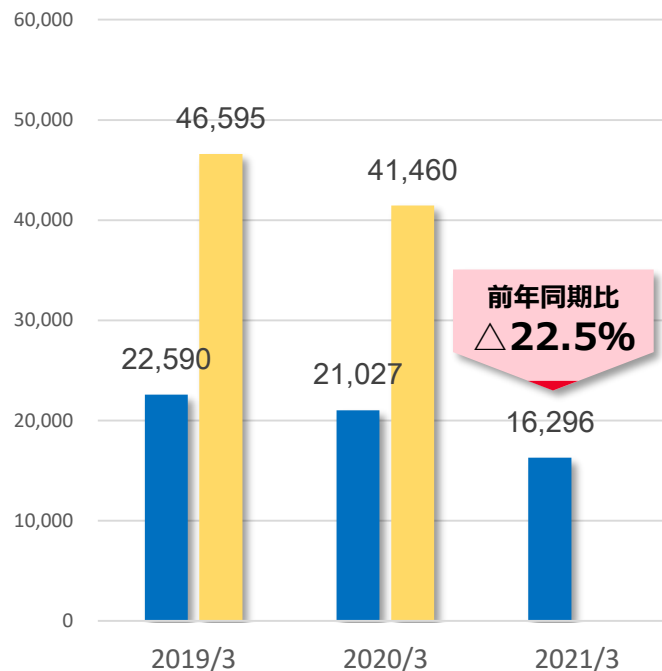
FAシステム

2021年3月期2Q
売上高構成比

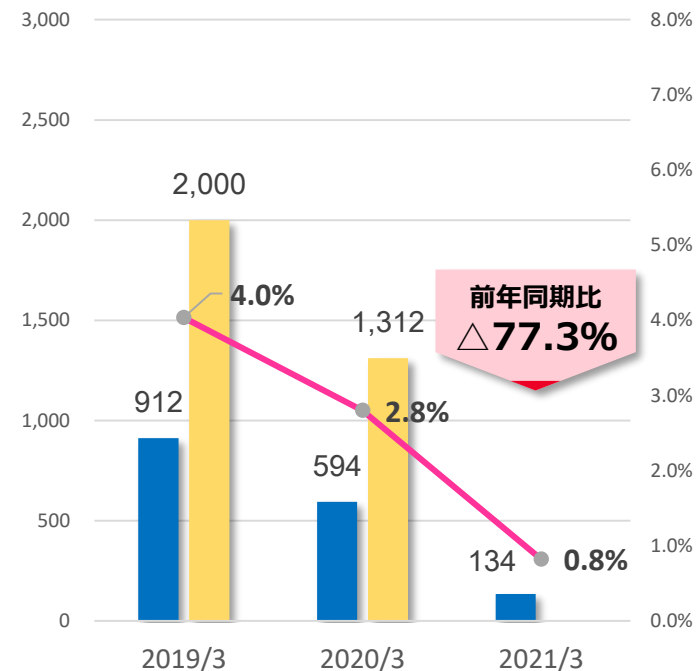
17.6%



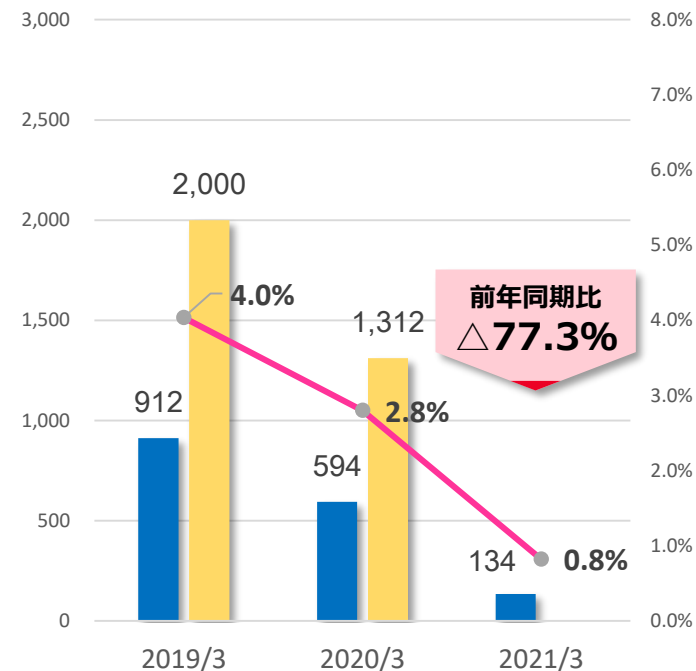
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



営業利益率 (%)



主なポイント

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により自動車関連を始めとした製造業設備向けが低調
- 5G関連の中国工作機械メーカー向け制御装置を除き、工作機械向けは低調
- 半導体製造装置向けは増加基調

セグメント別の業績動向 2/4

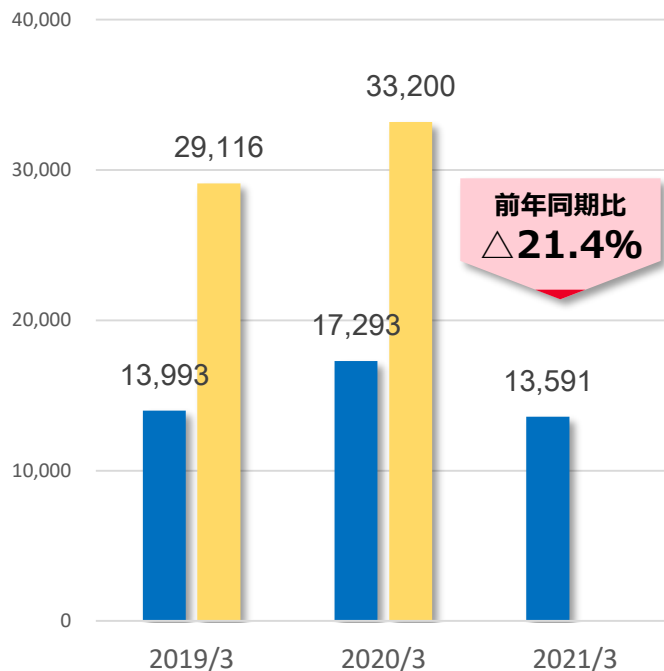
冷熱ビルシステム

2021年3月期2Q
売上高構成比

14.6%

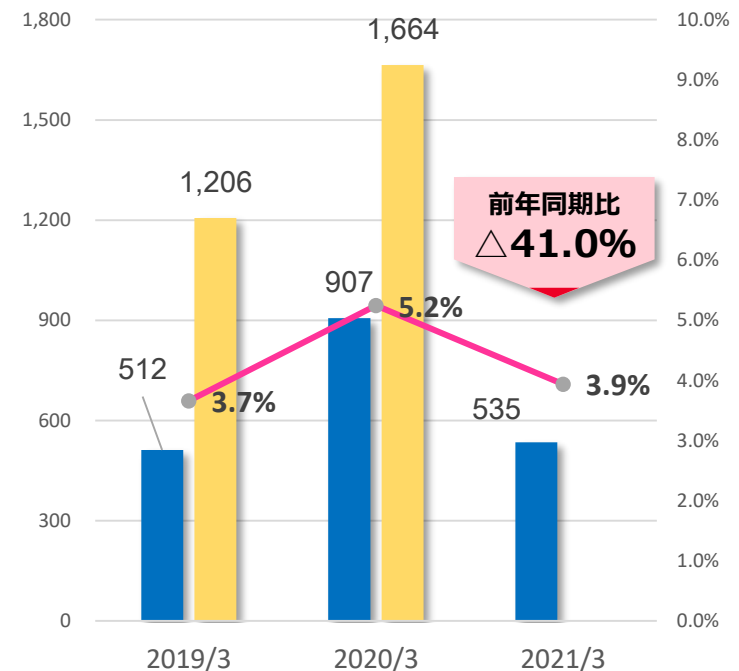


売上高 (百万円)



■ 2Q ■ 通期 — 利益率

営業利益 (百万円)



主なポイント

- 着手案件は工事進行するも、新規案件の延期・中止が影響
- RAC (Room Air Conditioner) は好調

注：2021/3期より、組織変更を契機に報告セグメントの見直しを行い、従来「ICT施設システム」に含めておりました「ビル事業」を「冷熱システム」へ統合し、報告セグメント名称を「冷熱システム」から「冷熱ビルシステム」へ、「ICT施設システム」から「ICTシステム」にそれぞれ変更しております。
なお、第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分及び名称により作成しております。

セグメント別の業績動向 3/4

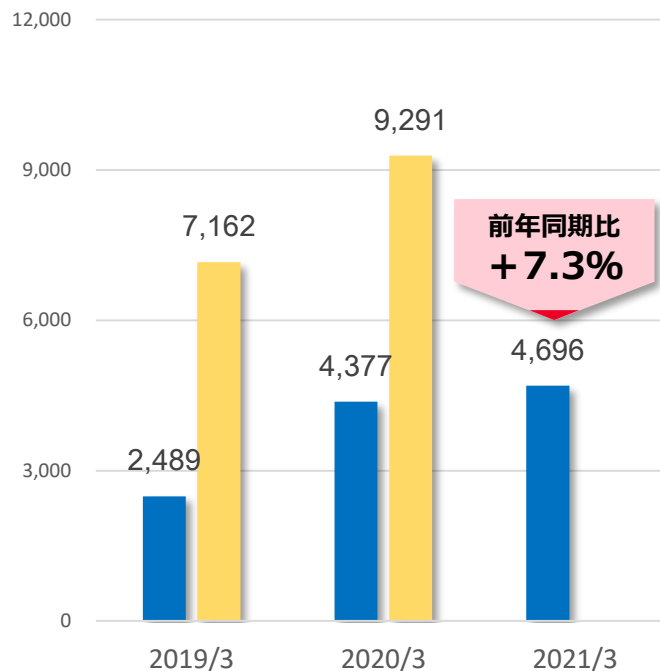
ICTシステム

2021年3月期2Q
売上高構成比

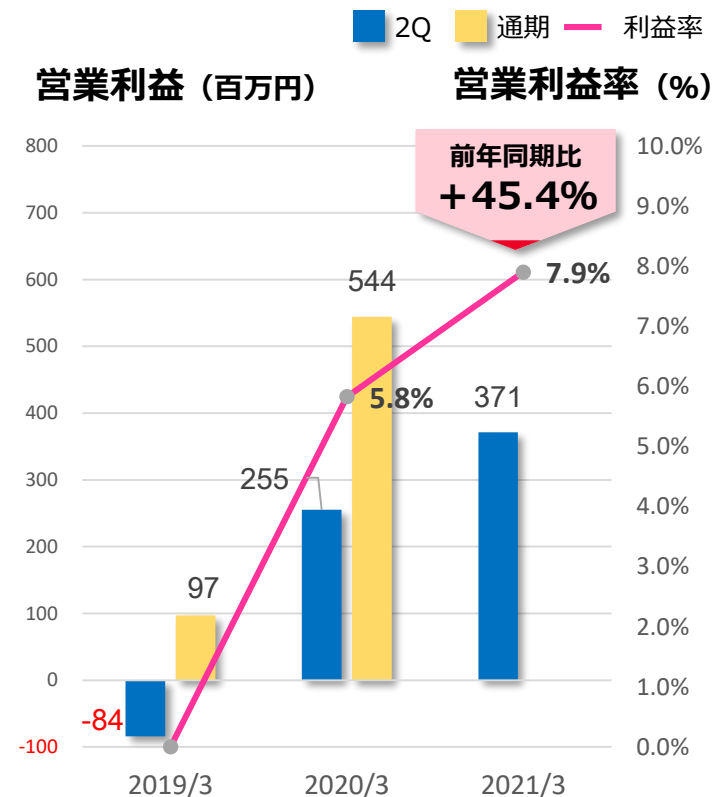
5.1%



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



主なポイント

- ネットワーク事業：テレワーク特需を受けコンポーネントビジネスが堅調推移するもモニタリング・RFID等工場管理システム新規受注低調（商談停滞）
- 大型植物工場案件（2件）が完工、スマートアグリ分野が大幅伸張

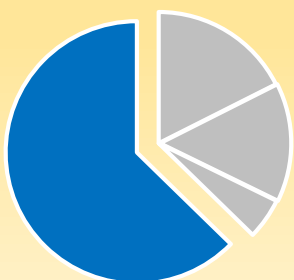
注：2021/3期より、組織変更を契機に報告セグメントの見直しを行い、従来「ICT施設システム」に含めておりました「ビル事業」を「冷熱システム」へ統合し、報告セグメント名称を「冷熱システム」から「冷熱ビルシステム」へ、「ICT施設システム」から「ICTシステム」にそれぞれ変更しております。
なお、第2四半期連結累計機関のセグメント情報については、変更後の区分及び名称により作成しております。

セグメント別の業績動向 4/4

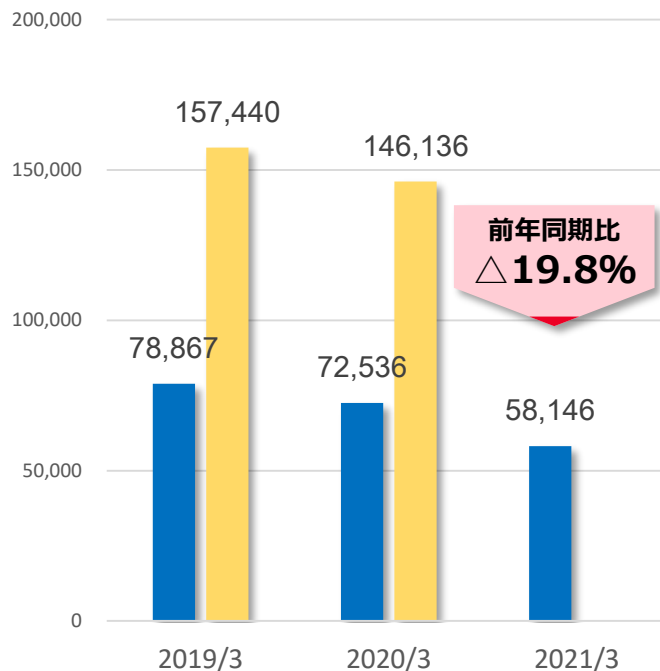
エレクトロニクス

2021年3月期2Q
売上高構成比

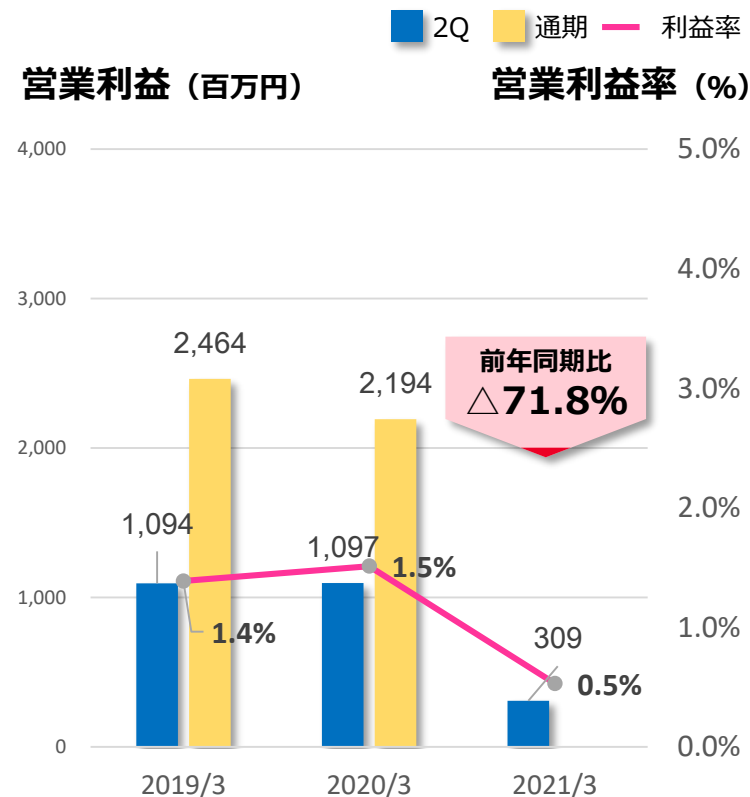
62.7%



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



主なポイント

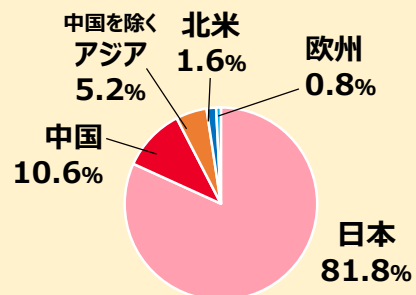
- 自動車関連は国内向けは低調、海外向けは工場稼働停止の影響を受け大幅減収だが徐々に回復の兆しが見える
- 産業機器関連、FA関連は低調

地域別の売上高推移

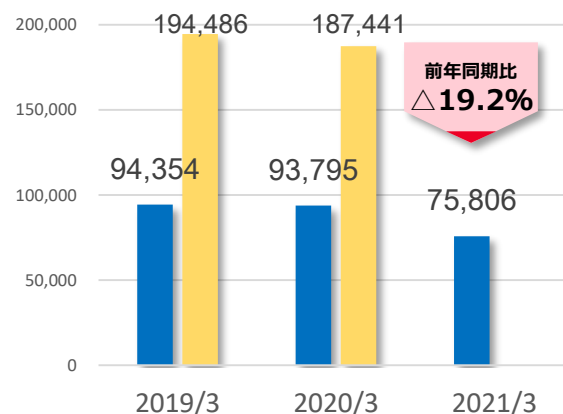
■ 2Q ■ 通期

地域別売上高構成比

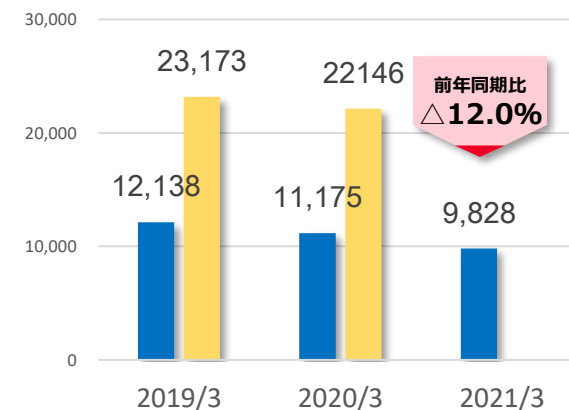
2021年3月期2Q



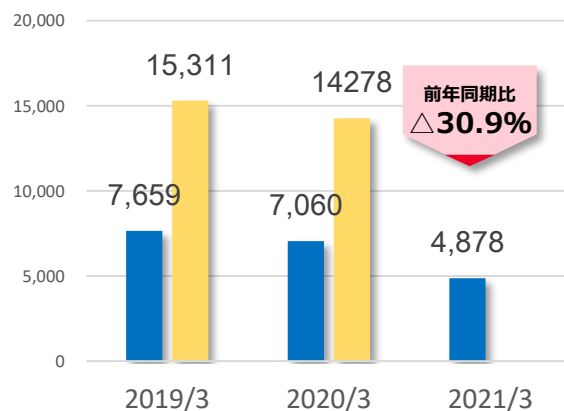
日本 (百万円)



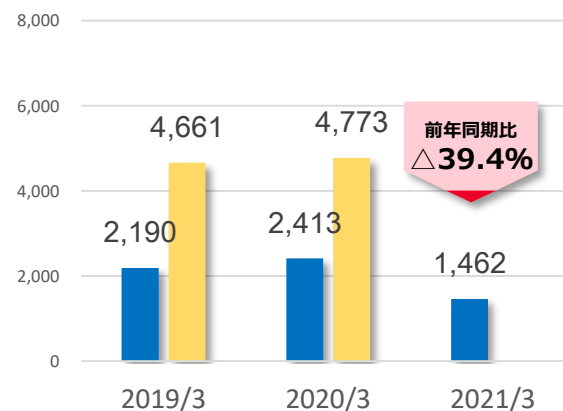
中国 (百万円)



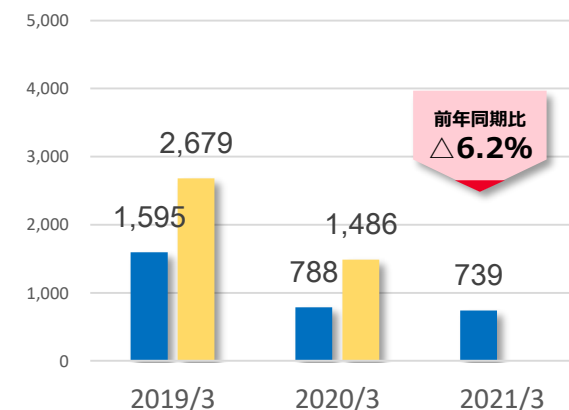
中国を除くアジア (百万円)



北米 (百万円)



欧州 (百万円)



財務の状況（連結）

【財政状態】

	2020/3末 (百万円)	2020/9末 (百万円)	増減
総資産	128,304	117,021	△11,283 百万円
負債合計	60,746	48,844	△11,902 百万円
純資産	67,557	68,176	+619 百万円
自己資本比率 (%)	52.5%	58.1%	+5.6 point

【CFの状況】

	2020/3期 2Q期間 (百万円)	2021/3期 2Q期間 (百万円)
営業活動CF	3,667	2,687
投資活動CF	△545	675
財務活動CF	△1,358	△475
現金及び現金同等物	18,741	22,914

2021年3月期 通期業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	2020/3期 実績	2021/3期 予想 (5月11日公表)	2021/3期 予想 (10月28日公表)	前年比 (%)
売上高	230,087	209,000	204,000	△11.3
営業利益	5,559	3,100	4,000	△28.0
経常利益	5,758	3,100	4,000	△30.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,860	2,200	3,000	△22.3

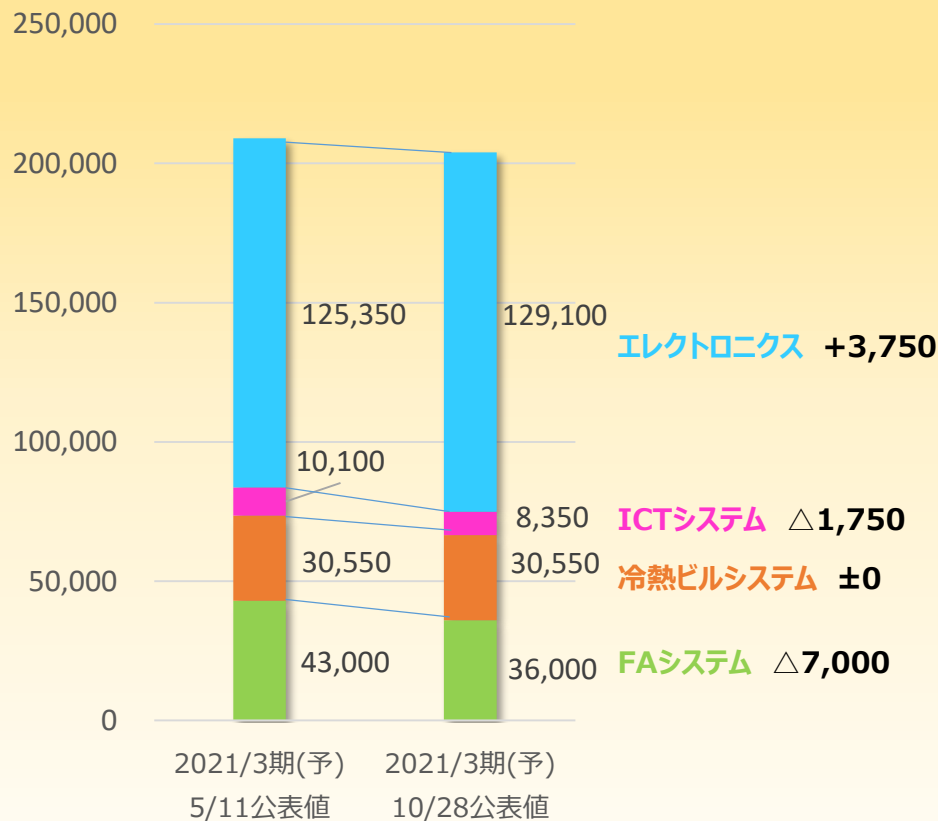
2021年3月期 セグメント別予想（連結）

		2020/3期実績 (百万円)	2021/3期予想 ※5/11公表 (百万円)	2021/3期予想 ※10/28修正 (百万円)	前年比 (%)
FAシステム	売上高	41,460	43,000	36,000	△13.1%
	営業利益	1,312	1,250	700	△46.6%
	下期回復を見込んでいたが、低調が続くと予想し下方修正				
冷熱ビルシステム	売上高	33,200	30,550	30,550	△7.9%
	営業利益	1,664	980	1,300	△21.8%
	5月の想定通りで推移、営業利益を上方修正				
ICTシステム	売上高	9,291	10,100	8,350	△10.1%
	営業利益	544	580	490	△9.9%
	想定と異なりコロナによる営業活動影響有、売上高、営業利益減の予想				
エレクトロニクス	売上高	146,137	125,350	129,100	△11.6%
	営業利益	2,194	530	1,750	△20.2%
	5月発表当初の想定ほど落ち込まず、自動車生産台数の回復傾向が継続する見通し				
全社費用	営業利益	△156	△240	△240	-
	セグメントに帰属しない新規事業開発費用				

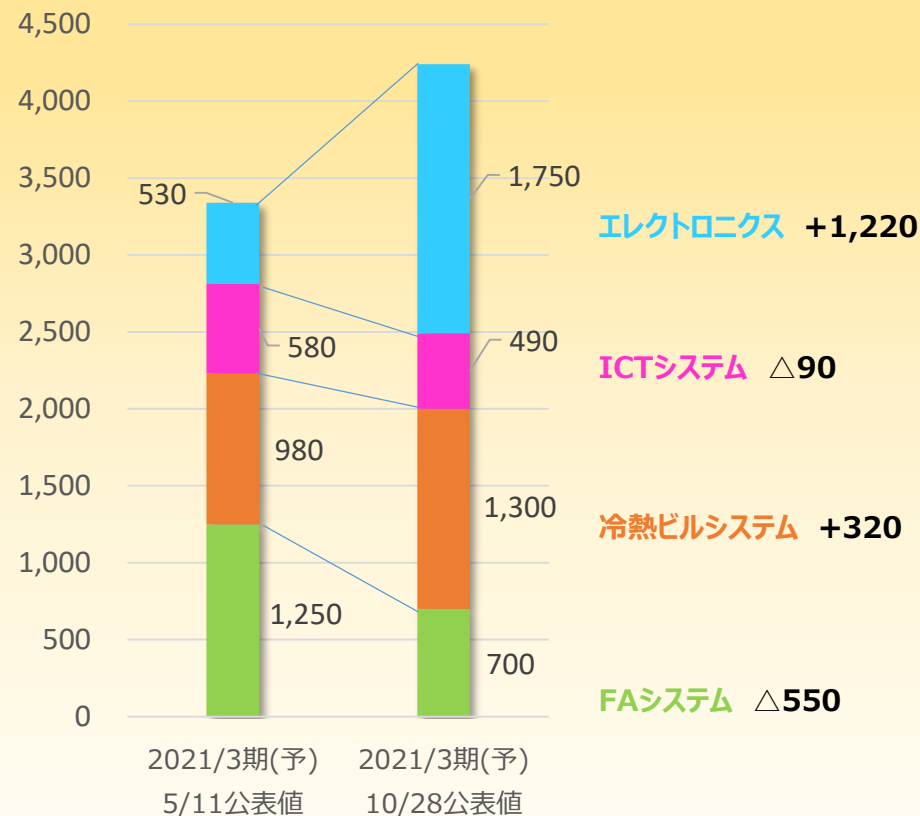
2021年3月期 セグメント別予想（連結）

FAシステム 冷熱ビルシステム ICTシステム エレクトロニクス

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



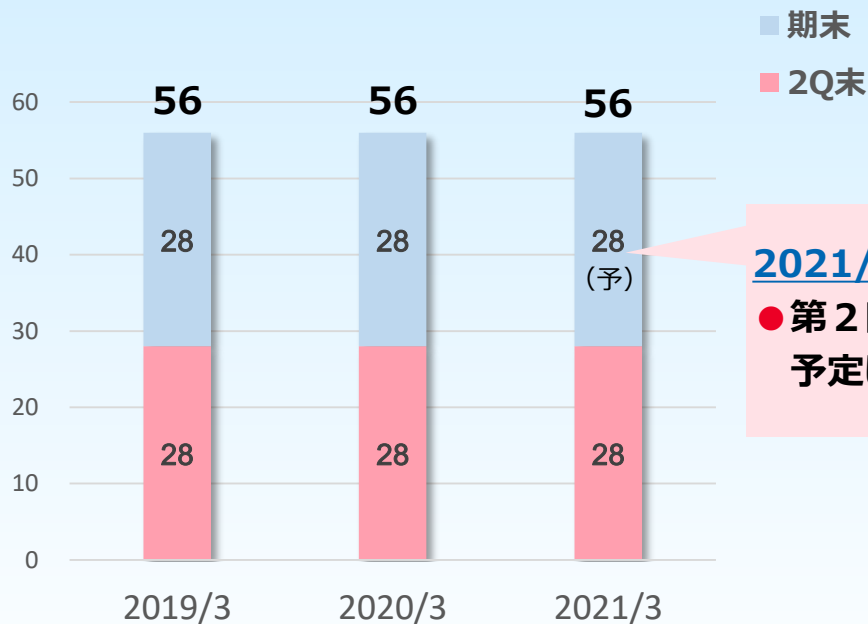
※注）営業利益グラフに全社費用は含まれておりません。

【配当政策】

- 経営基盤・財務体質の強化のための内部留保の拡充と事業拡大のための投資財源への活用を基本として、株主各位への適正な利益還元を実施
- 配当については、各事業年度の連結業績および中長期的なグループ戦略等を勘案の上、利益還元を実施

配当金の推移（円）

【配当実績】



2021/3期 配当について

- 第2四半期末配当と同様に期末配当も28円と予定している（年間56円）。

配当性向	33.7%	35.4%	40.6% (予)
------	-------	-------	-----------



3. 今後の経営戦略

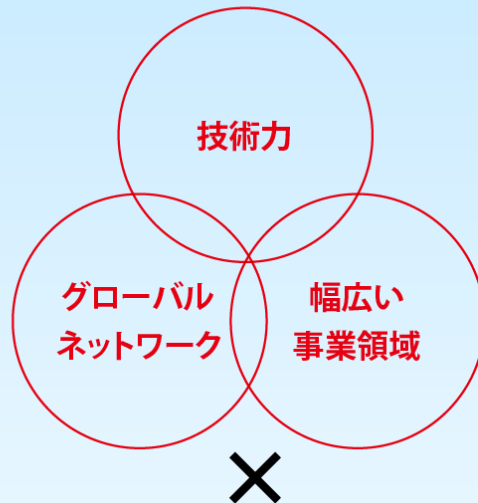


RYODENの価値創造モデル

菱 電 商 事

強み

注力推進分野で創出する価値



中期経営計画
(2020年度～2024年度)

ICHIGAN2024

安心

安全

環境



事業推進基盤の強化

コーポレートガバナンス

人材マネジメント

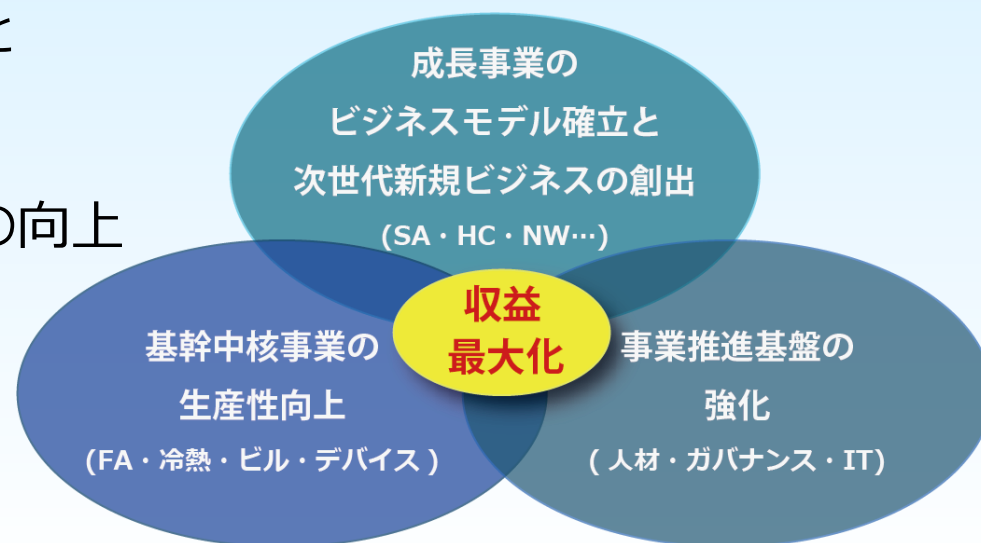
環境マネジメント

環境・安心・安全でサステナブルな社会の実現に貢献

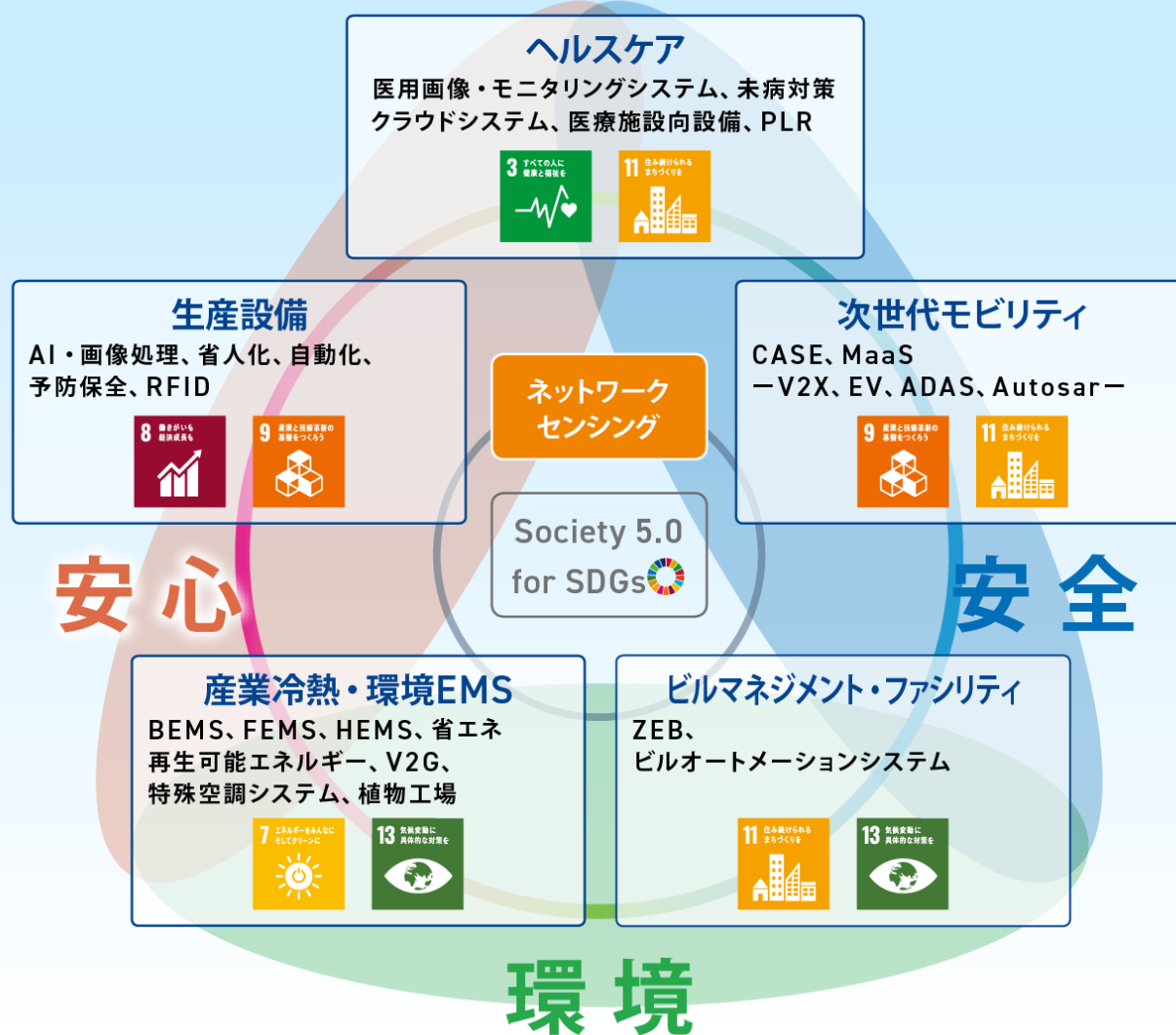
代理店、商社の枠を超えた事業創出会社として
新たな価値を生みだし続ける

3つの成長エンジン

1. 成長事業のビジネスモデル確立と
次世代新規ビジネスの創出
2. 基幹中核事業における生産性の向上
3. 事業推進基盤の強化



RYODENの注力推進分野



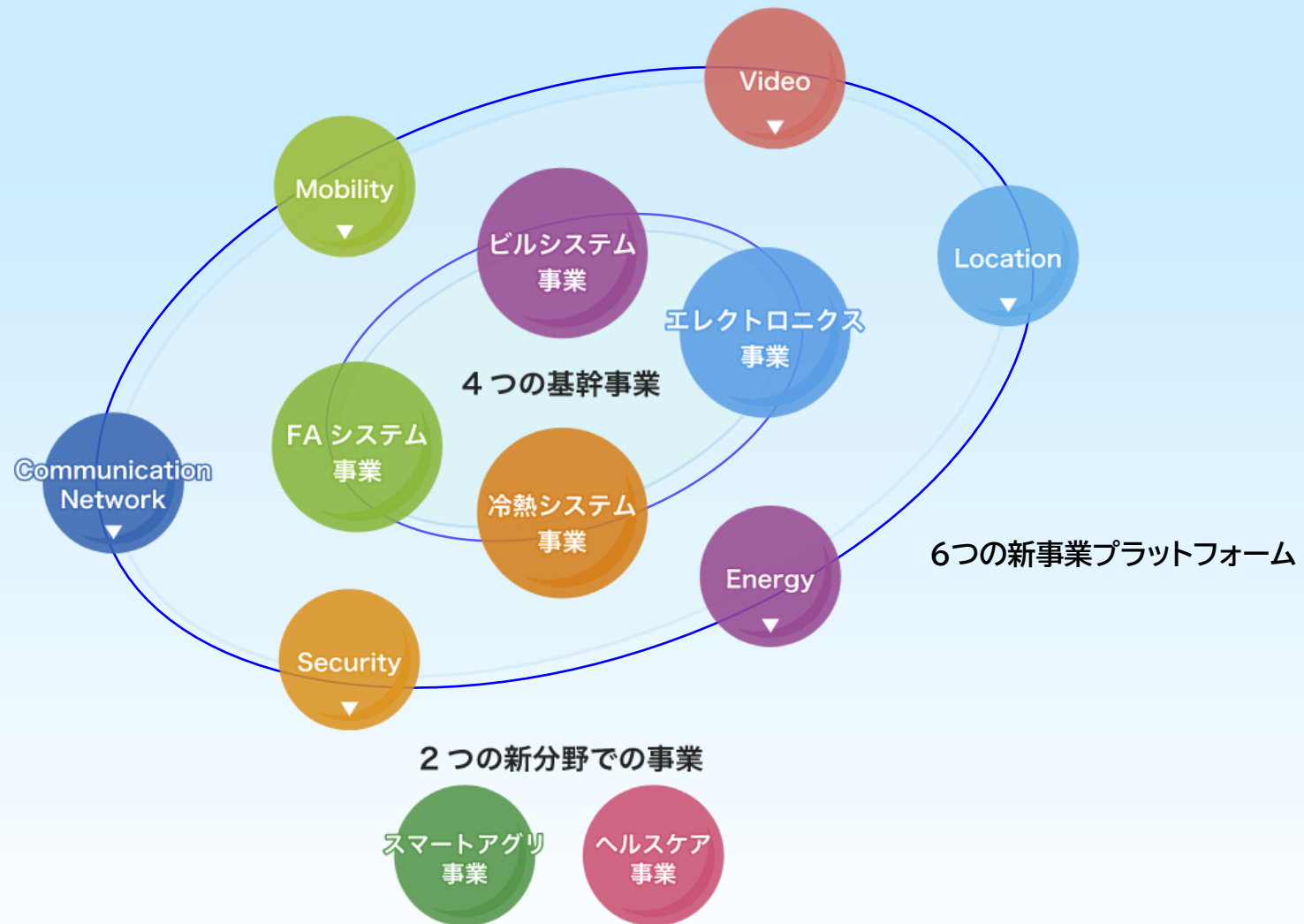
主な保有資格

建設業許可
(許可を受けた建設業の種類)

- ☒ 特定建設業：
管工事業、
機械器具設置工事業
- ☒ 一般建設業：
とび・土工工事業
- ☒ 特定建設業：
電気工事業
- ☒ 一般建設業：
電気通信工事業

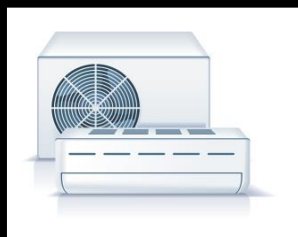
- ☒ 電気通信事業登録
- ☒ 高度管理医療機器等販売・貸与業許可
- ☒ 医療機器修理業許可

RYODENの幅広い事業領域



スマートアグリ事業①：RYODENスマートアグリ事業

「冷熱システム」「FAシステム」「電子デバイス」の製品・ノウハウを植物工場向けに最適化し
IOTシステムに統合、運営効率の高い植物工場システムを提供。



冷熱システム



FAシステム



電子デバイス



Remces

RYODEN IOT Platform

- ☐ 植物工場向けシステム機材開発 企画販売製造
- ☐ 植物工場IOTシステム開発
- ☐ 植物工場企画設計 元請専門施工

スマートアグリ事業②：実績

①BlockFARM コンテナ栽培システム



②小規模植物プラント 農福 連携



③中規模植物プラント



④キクラゲ菌床栽培システム



⑤高速栽培用LED照明



⑥IOT計装システム 開発



⑦既設建物利用 大規模植物工場



「機器システム開発販売・専門施工で累計80億円を突破！」

2018年～2019年

～2017年

富士山グリーンファーム(株)殿



静岡県富士市
日産1.2t 2017年12月竣工
既設建屋利用型

西濃ホールディングス
東海西濃(株)殿



岐阜県土岐市
日産1.5t 2019年6月竣工
新築

国内最大級

三菱ガス化学(株)殿
MGCファーマックス(株)殿



福島県白河市
日産2.6t 2019年10月竣工
新築

2019年～2020年

世界最大級

彩菜生活合同会社殿 東京電力エナジーパートナー殿
芙蓉総合リース殿



静岡県藤枝市
日産5t 2019年11月着工
2020年6月竣工
既設建屋利用型

国内最大級

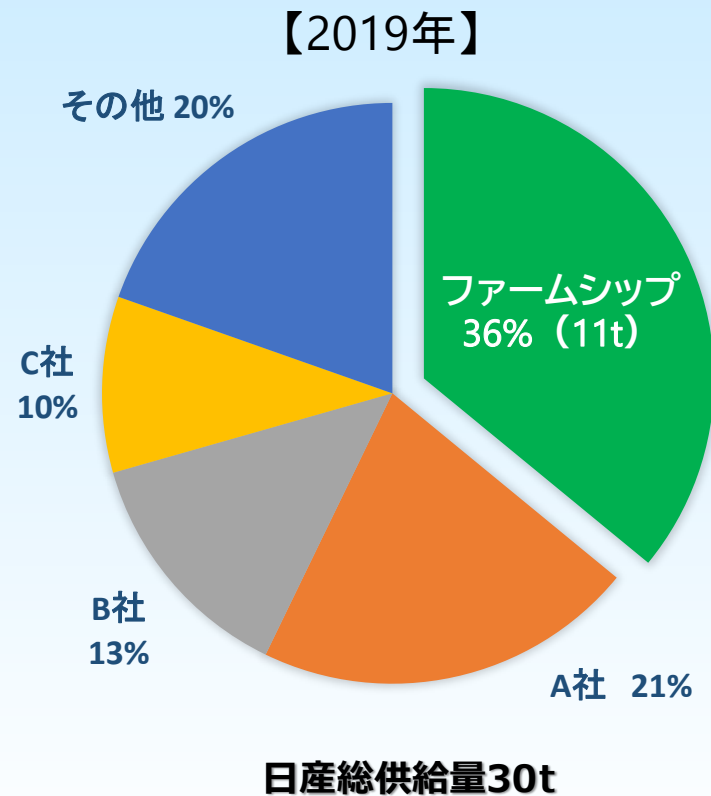
(株)バジノバ殿 東芝プラントシステム殿



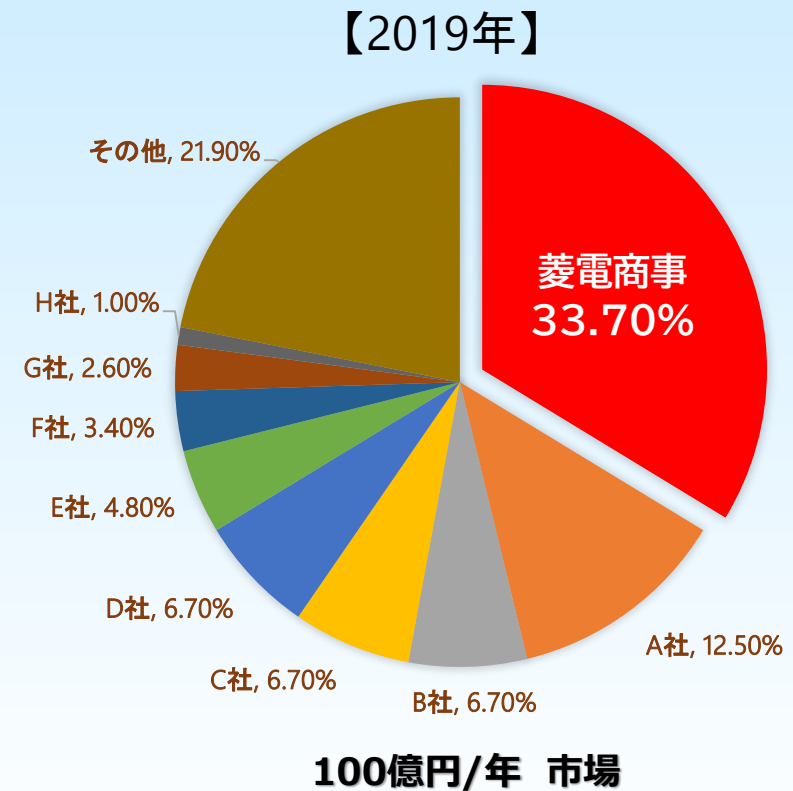
埼玉県加須市
日産3t 2020年3月着工
2020年9月竣工
既設建屋利用型

スマートアグリ事業④：植物工場市場動向

1. 植物工場有力事業者シェア



2. 設備機材施工シェア

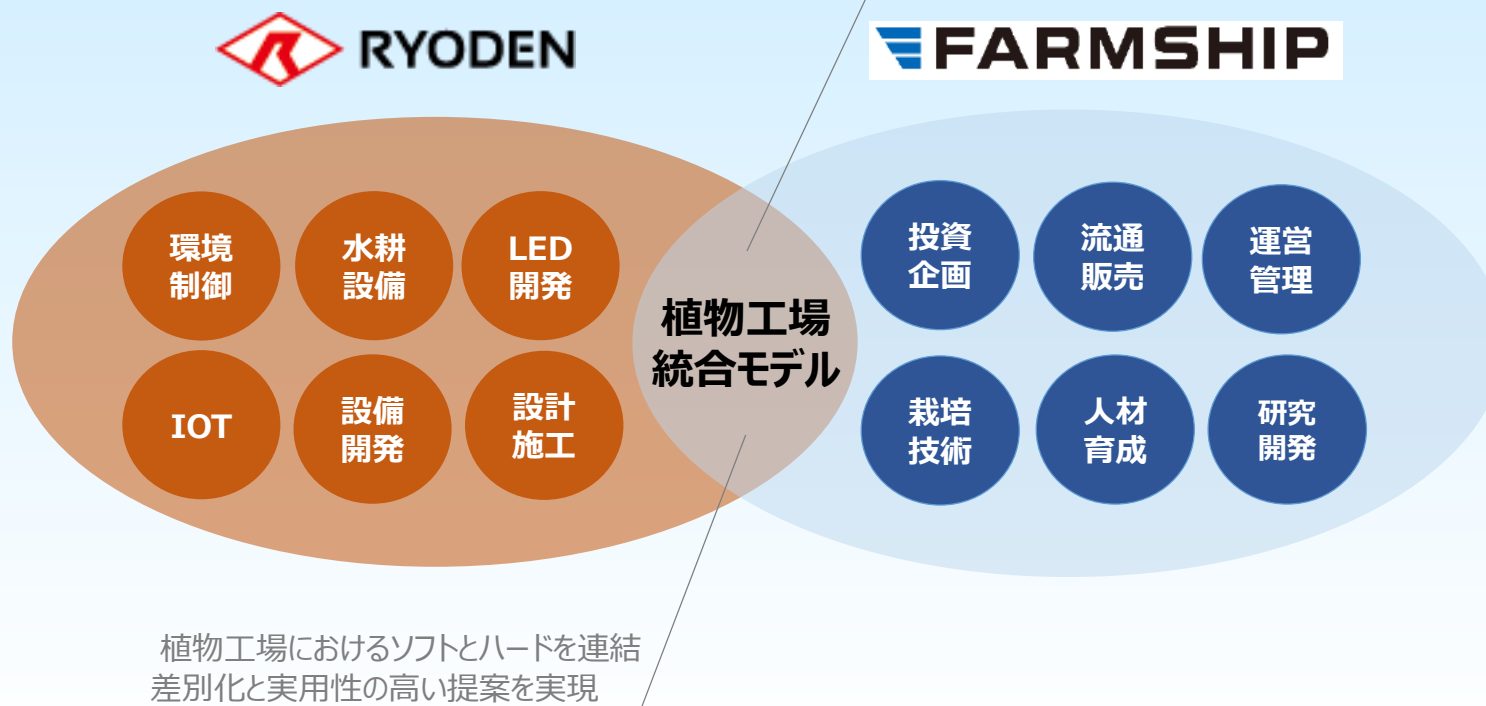


出典：富士経済農林水産ビジネス2020年版（抜粋）

スマートアグリ事業⑤：協業事業モデル

「システム・機材・施工分野で業界トップの当社と植物工場野菜
流通トップのファームシップ社による協業事業モデルを実現」

他社資本による大規模植物工場投資を
実現する事業投資モデルを両社で確立。



植物工場野菜の生産・販売、次世代農業モデルの開発を行う RYODEN×ファームシップ社の合併新会社 「ブロックファーム合同会社」を本年10月に設立

1. 会社概要

1. 商号	ブロックファーム合同会社 英語表記 BlockFARM,inc.
2. 設立	2020年10月14日
3. 資本金	1000万円
4. 出資比率	菱電商事株式会社60% 株式会社ファームシップ40%
5. 従業員	社員10名 パート約100名
6. その他	農地所有適格法人

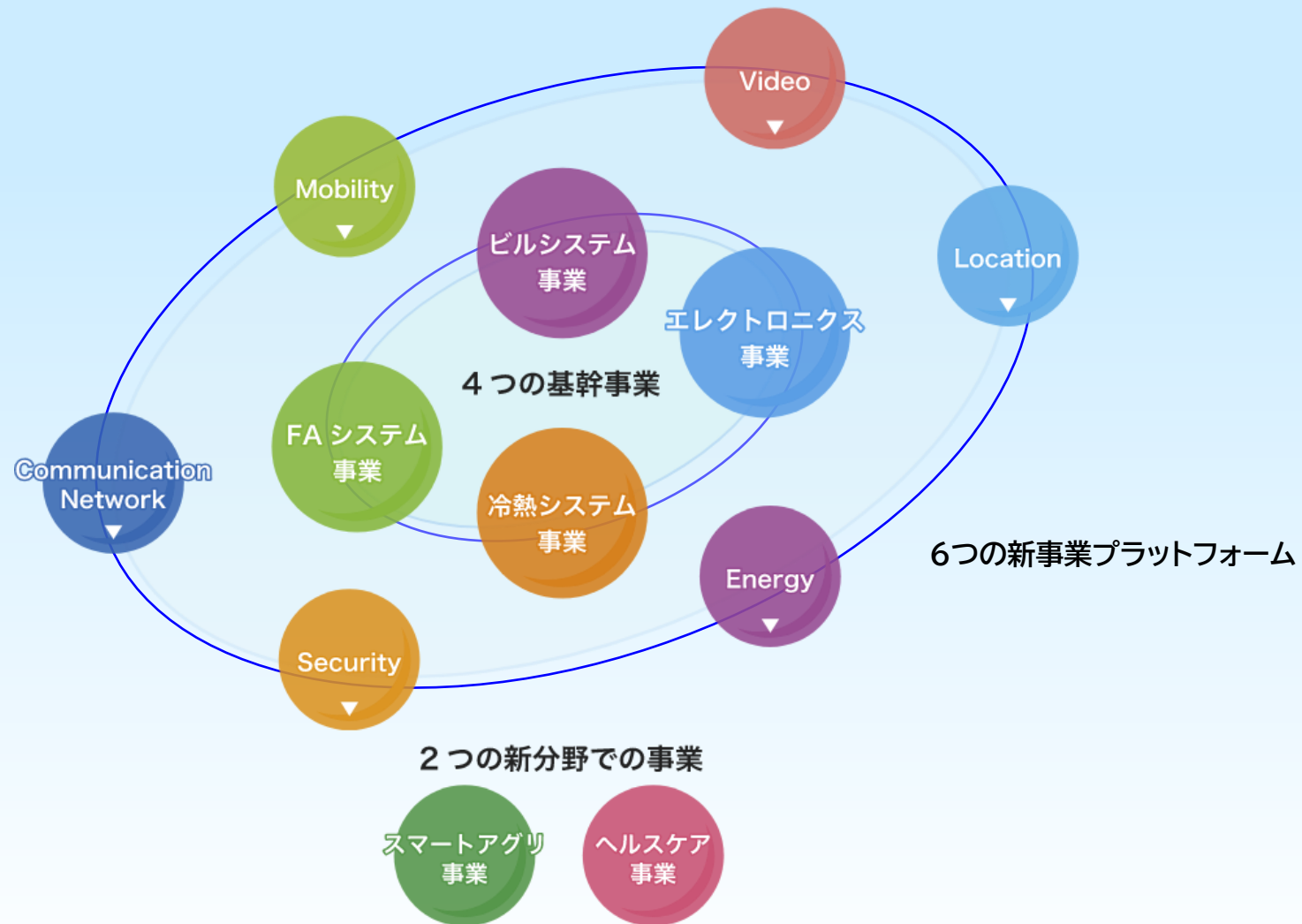
2. 施設概要

生産規模 日量3トン～4トン
建物 延床9000㎡
稼動予定 2022年3月

法蓮草等軸物野菜の大規模周年栽培
使用電力を従来比50%削減を目標
栽培・加工・冷凍一体化施設を導入

商用栽培と共に次世代植物工場に
向けた栽培技術・設備開発を行う

RYODENの幅広い事業領域



◆ SaaS, MaaS, ADASへの取り組み

車載SW開発PF

AUTOSAR

車載SWプラットフォーム

APTJ社, 名古屋大学 × RYODEN

仮想開発環境

WARXSS

グラフィックシミュレータSW

ヴィッツ社 × RYODEN

VLAB

マイコンシミュレータSW

ASTC社 × RYODEN

ADAS

ドライバモニタリング

非接触心拍測定
ソリューション

静岡大学, サニー技研
× RYODEN

◆ FlaRevo Network

“Flarevo CONNECT”...データと映像の連動によりビジネス価値を生む



「現場とつながる。現場が見える」

- ・取り逃したくない瞬間や、保存しておきたい映像の取得を自動化
- ・パソコン映像も、カメラ同様にライブ再生・録画が可能

従来の監視カメラでは成しえなかった新たな価値を、お客様に提供

“FlaRevo CLIP”...更なるビジネスカメラ映像の活用を推進



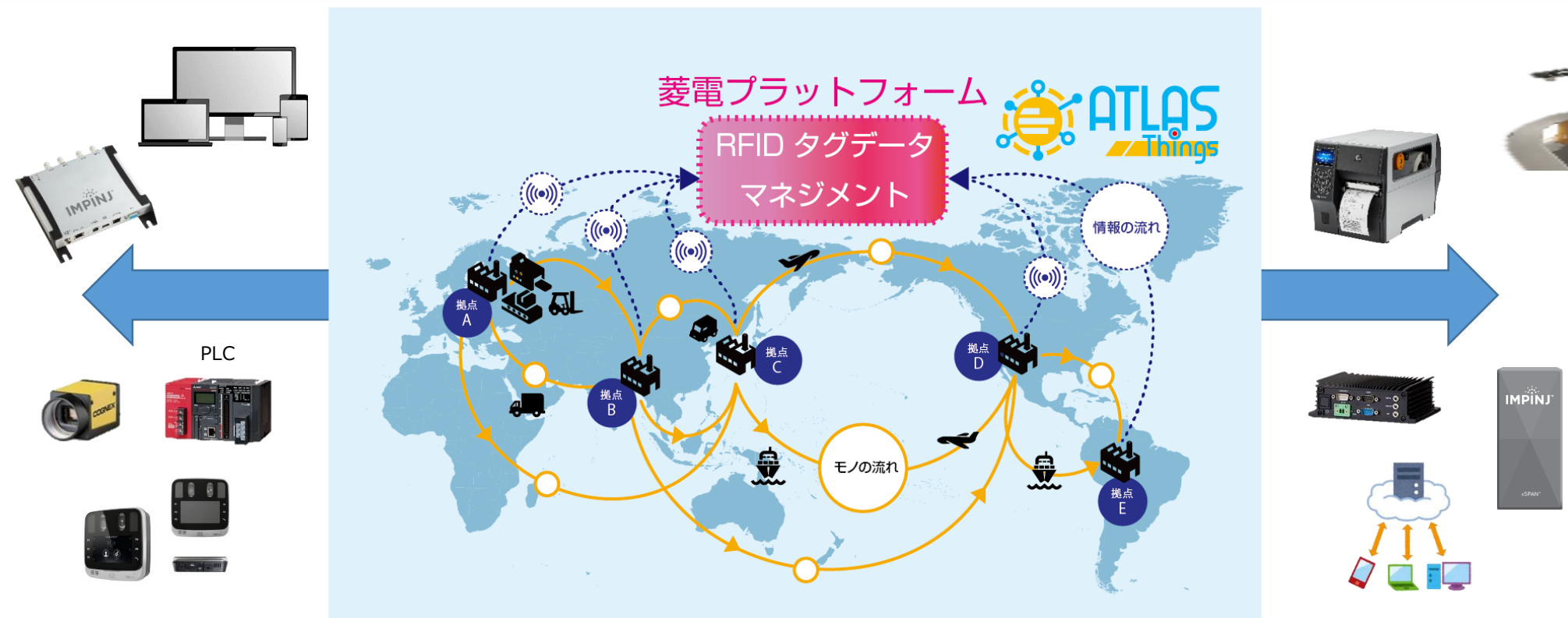
「ビジネスカメラ映像は企業の財産」

- ☐ 複雑な操作は不要で自動で必要な情報を長期保存
- ☐ 映像は、専用のWEBページを通じて共有が可能
- ☐ お客様のご指定の環境で稼働（オンプレミス）

企業にとって財産であるビジネスカメラ映像をより活用できる仕組みを提供

RFID、バーコードに代表される自動認識技術を活用したクラウドサービス

- ▶ 自動車業界、製造現場でモノの出入（動態管理）を見える化
- ▶ 梱包単位で階層別管理を実現（ISOなど国際規格に準拠）
- ▶ いつでも、どこでも安全なシステム環境を実現

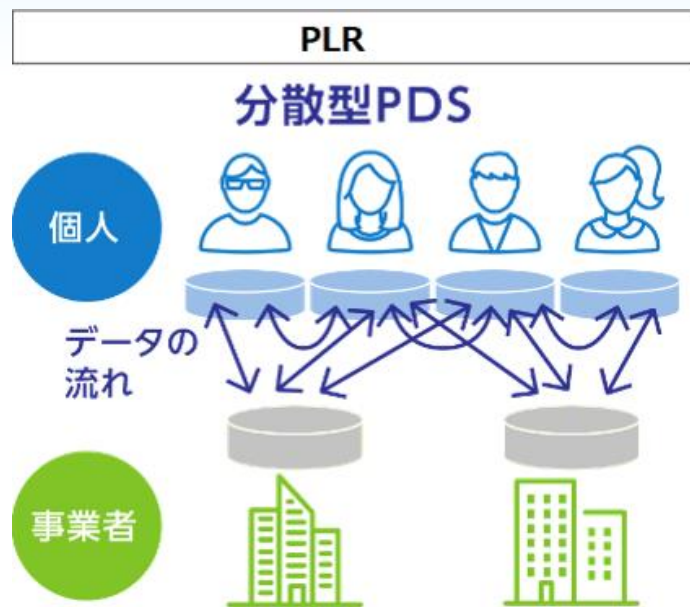


PLR (Personal Life Repository)

東京大学大学院発のアセンブローグ社が事業化に取り組んでいる分散型個人情報システム

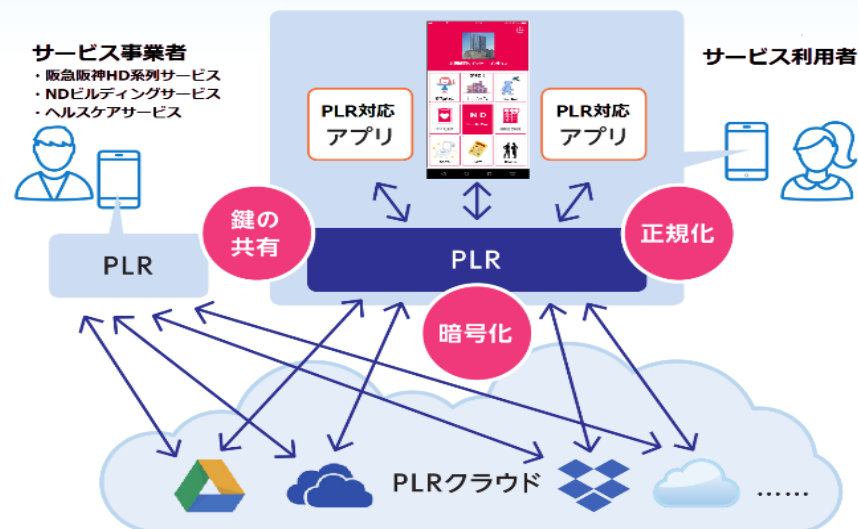
特徴① 分散型のパーソナルデータストア

- i. データ漏洩の危険性や保守管理の負担が少ない
- ii. 個人情報に本人に集約されることでデータの価値が騰がる



特徴② パブリッククラウドの活用

個人データの開示や停止は 本人の意思で決定可能



Energy (クラウド型統合管理システム)

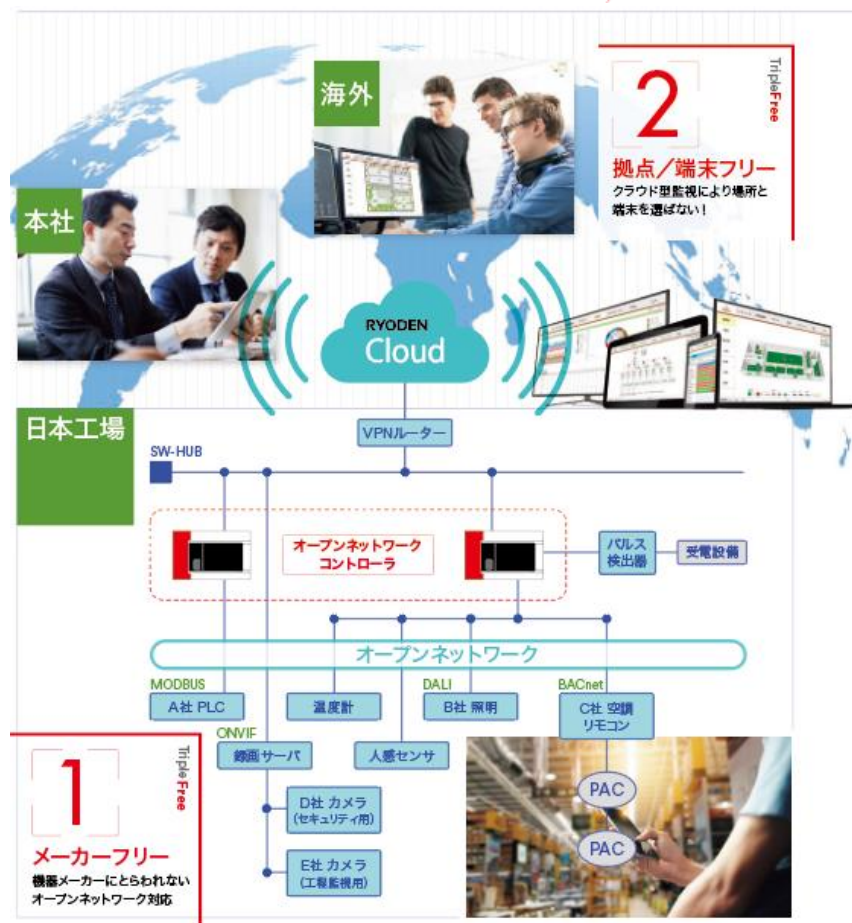
◆ REMCES (レムセス)

3

Free

空調・照明・監視・省エネのエキスパート

IoTを最大限に活用した最新大型植物工場をも手掛ける技術商社「菱電商事」が
自信をもってご提案する「クラウド型統合監視システム」です！



2

拠点/端末フリー
クラウド型監視により場所と
端末を選ばない！

3

デザインフリー
直観的に見てわかる監視画面
を自由にカスタマイズして構築
できます。

工場ごとにわかりやすい
インターフェイスデザインを！

【監視基本画面】

施設レイアウトをグラフィカルに表現。タブ
で各監視項目を選択します。画面構成につ
いては相談のうえ構築致します。

【ログ】

各種情報の履歴を管理。警報に対するトラブ
ルシューティングをマニュアル化し、ドライ
ブ上にアップロードしておくことで誰でも復旧対
応が可能！



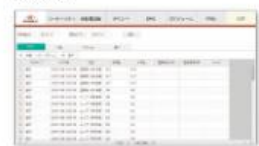
【ユーティリティ監視】



【電力監視】



【デマンド監視】



カスタマイズ
例

【スケジュール】



【EMS】

時間・日・月・年毎のエネルギー監視が可
能です。原単位管理も容易。急な製品変更、
ライン変更にも、電力測定箇所をドラッグ&
ドロップにて操作し柔軟に対応！

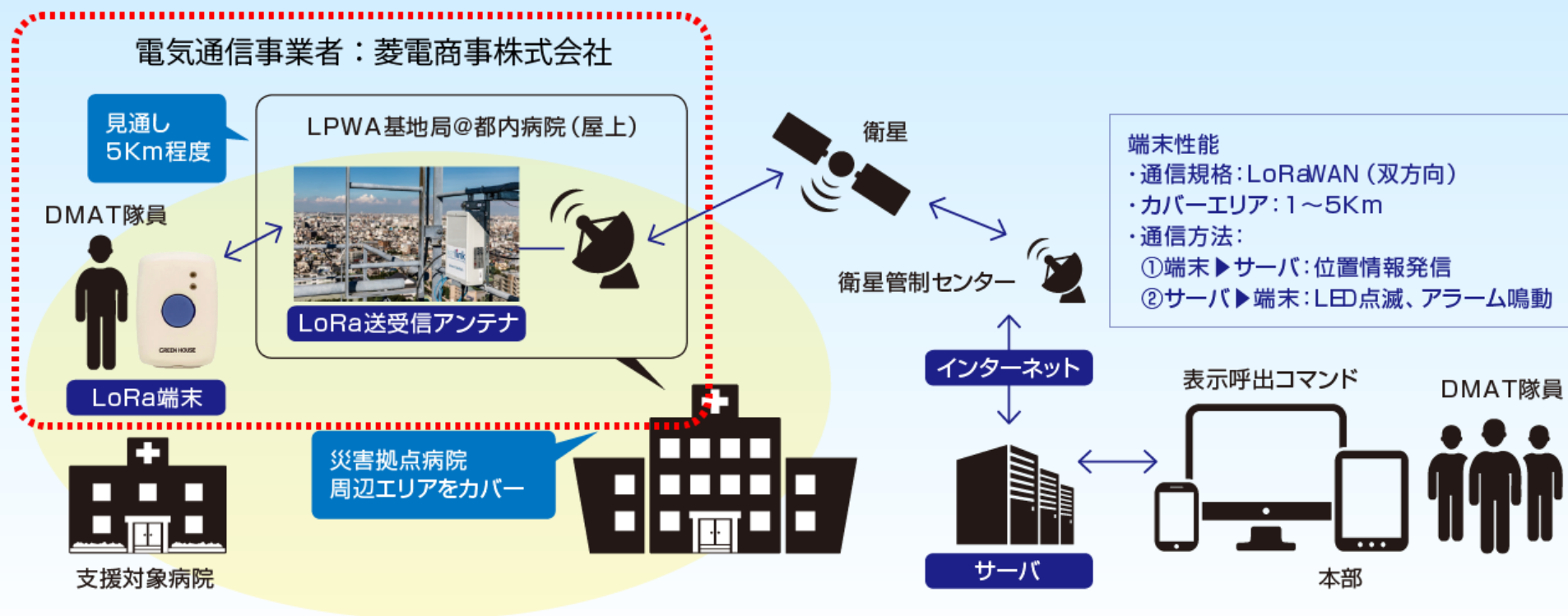
【FMS】

日常点検項目をお客様要望に応じて作成。CSV
出力が可能です。iPadなどを活用した日常点検
作業にも応用可能です。

Communication Network (LoRa通信)

◆ 電気通信事業者としての活動例 (大規模地震時医療活動訓練)

LPWA 通信事業者として 「大規模地震時医療活動訓練」に参加



Communication Network (LoRa通信)

◆ LoRaWANTMwo活用した法面アプリ

LoRaWAN™活用による防災・予兆管理

LoRaWAN™

子機(傾斜センサー+温度)
920MHz無線モジュール
加速度センサー(傾き)
電池駆動(乾電池)



* 設置イメージ

* LED発光ユニット 取付時

がけ崩れ

土石流

地すべり

920MHz

920MHz

920MHz

3G/LTE

3G/LTE

クラウド

メール配信設定やWeb表示は
クラウドサーバ側の設定/設計で
自由に構築可能です。

* GATEWAY取付イメージ

メール配信

モバイルへの通知

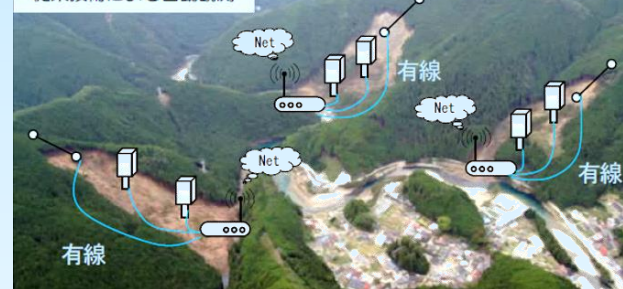
HPでの確認

インターネットで広域に通知

【比較】

従来の自動観測システムとLoRa
の通信技術による観測のイメージ

従来技術による自動観測



LoRa による自動観測

LoRa 通信可能エリア



環境ビジョン制定

◆ 2020年4月1日、2030年までの環境ビジョンを制定しました。

菱電商事グループ環境ビジョン

菱電商事グループは 2030 年までに

「脱炭素社会への
取り組みを強化する」

【重点取り組み】

- ・ 電力使用に関する温室効果ガス排出ゼロへ挑戦する
- ・ ZEB 等の環境負荷軽減に寄与するソリューションを提供する

「製品ライフサイクル思考に
貢献する環境ソリューションを
創出し環境価値を増大する」

菱電商事グループは
全ての事業活動を通じ
持続可能な開発目標への
貢献を目指します





菱電商事株式会社

〒170-8448 東京都豊島区東池袋3-15-15

総務部

e-mail:ryoden_ir@mgw.ryoden.co.jp

TEL:03-5396-6111

FAX:03-5396-6448

資料の取り扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている業績計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向及び製品需給の急激な変動
- ・ドル等の対円為替相場の大幅な変動
- ・資本市場における相場の大幅な変動等